

正しいことをする

—CL からの提言—CL News letter から—

David K. Reynolds, Ph.D.
dkreynoldsjapan@gmail.com
<http://constructiveliving2.weebly.com/>

Vol. 21, No. 2 (February 2019)

自分はなぜか正しいことをするとわかっています；なすべきこともなぜか知っています。どうやって知ったのか、どうして知っているのか本当にわかっている人はいません。なすべきことをする時もあり、しない時もあります。なぜかわかりません。知識や行動の原因についていろいろ話がつくられます。話は複雑で、学問的なものがあります。簡単に忘れられてしまう民話のような話もあります。

行動や知識のもとはどうでも自分はわかっていると知っています。そして自分がすべきことをすると知っています。自分の身体能力でする行動には責任があります。その行動はどんな瞬間でも自分を良い人間か、悪い人間か決めます。行動すべては、善悪の判断能力への信頼と現在の状況に関する事実からの答えの鍵を握ります。そして人は皆、なぜその状況でそうしたかの話を作ります。様々な話に事実との違いをみつけ、疑いを持ってください。

CL News: Vol. 21, No. 3 (March 2019)

人から相談を受けたら、提案したり、アドバイスしてください。インターネットからの情報や本からの知識ではなく、自分の体験、経験をもとに提供してください。自分の提案やアドバイス通りに相手が従うよう求めないでください。他の人たちのなすべきことをあなたは決められません。自分が想像もしなかったやり方で他の人が提供した情報を使うかもしれません。いい点は他の人がすることに自分は責任がないことです。



オレゴン州クーズベイCLセンター(レイノルズ先生自宅)

[➡ 目次へ戻る](#)